

“箱根駅伝 5 位以内” 坪田監督

～ 菅平で駅伝チームを激励 ～

法政大学後援会長野県支部は、9月15日（日）、上田市の菅平高原で合宿中の法政大学陸上競技部駅伝チームを激励しました。坪田監督は、「箱根駅伝5位以内」と力強い決意。



中原かおる長野県支部長から坪田監督へ激励金の贈呈
中原支部長「楽しんで走る姿を見たい。皆で応援します。」と激励。



法政大学後援会
地頭江正美会長
「選手一人一人目標に向かってほしい。」

法政大学後援会本部から地頭江正美会長が駆けつけ激励の言葉を贈りました。後援会長野県支部は22名が参加し、激励金と飲料を贈呈。

坪田智夫監督は、激励へのお礼とともに「けが人もなく良い状態で仕上がっている。来年1月の箱根駅伝では、5位以内の目標は十分可能。選手から応援まで、オール法政で挑みます。」と力強く話しました。

駅伝主将の小泉 樹選手（現代福祉学部4年）は、「感謝の気持ちでのぞみます。5番以上の目標を胸に、スタートラインに笑顔で自信を持って立てるようにがんばります。」と決意を述べました。

駅伝チームは、新潟県妙高高原で合宿の後、9日から18日までの日程で恒例の菅平合宿を行い、選手46人が参加。今後は、10月14日（月・祝）開催の出雲駅伝に出場。注目の第101回の箱根駅伝は、2025年1月2日（木）、3日（金）に開催。法政大学は前回6位でシード権を獲得し10年連続85回目の出場。



法政駅伝チームを皆で応援しよう！

「長野県支部便り」は支部の動きや情報を随時発信していきます。支部運営へのご協力をお願いいたします。
(文責 副支部長 早川) eijihy@gmail.com

